

第32回和歌山地方本部 地方委員会開催

働きがい、誇りが高まる人財への投資を！！

【定昇実施、ベア・年間臨給満額獲得！！】

全組合員の総団結で2025春闘を闘おう！！

和歌山地方本部は3月4日（火）JR美園ビルにおいて第32回地方委員会を開催し、委員、傍聴者、来賓、執行部合わせて約50名が出席した。議長には和歌山車掌区分会より田中委員を選出した。来賓には2025年7月に実施予定の第27回参議院選挙において国民民主より立候補される電力総連出身の浜野よしふみ議員が駆けつけて下さり、激励を頂いた。またJR西労組中央本部からは、上村執行委員長、川西教育部長にお越しいただき、中央本部を代表して上村執行委員長より「①安全確立について、昨年度よりも一歩間違えれば死亡労災になりうる事象が多発している。ABC運動を実践し、お客様の死傷事故ゼロ、JR関係労働者の死亡労災ゼロを最優先に取り組んで欲しい。またJR西日本グループ鉄道安全行動計画2027の検証アンケートに分会全体で議論し、課題抽出をして欲しい。②2025春闘について、物価高に見合った賃金の上昇、継続したベア獲得、将来のことを考えた人財への投資に向け、最後の最後まで全力で取り組む。」と主要課題に触れたごあいさつをいただき、最後まで大会にご参加いただいた。和歌山地本執行部を代表して堂脇執行委員長より冒頭、日頃の運動の取り組みに対する感謝が述べられた後「①安全確立の取り組みについて、今後春から夏にかけて和歌山地本管内では獣害撤去や草木の伐採作業等が増加する。熱中症対策をしっかり行うとともに、一人で頑張ろうとせず仲間と助け合いながらルールを守り取り組んでほしい。②2025春闘は社会全体が賃上げの流れである。コロナ禍を愚直に安全、安定輸送に従事してきた組合員に還元すべきである。春闘勝利に向けて本部闘争委員会を後押しすべく組合員の皆様には引き続きの支援をお願いしたい。③ローカル線に関わる政策課題について、コロナ禍を経てローカル線における変革は進んでいる。組合員の雇用を守ることを大前提に今後の動向に注視していく。④政治との関わりについて、2025年7月に参議院選挙が実施予定である。我々の声を代弁してくれる議員の再選に向け、和歌山地本としても支援の輪を広げていく」との挨拶、委員会への課題提起を行いました。



浜野よしふみ議員（国民民主党）

委員会質疑では、6名の委員から8項目について発言をいただき、エリア手当等各種手当の増額、組織・業務課題に関する議論が交わされました。厳しい状況は続いておりますが、全組合員が協力し、この難局を乗り越え、2025春闘勝利に向けて最後まで全員参加で取り組んでいきましょう！！

【委員から発言された意見】

- 小川委員（和歌山車掌区分会）ダイヤ改正に関する課題
- 井上委員（運転部会）2025春闘交渉状況・エリア手当の増額
- 東野委員（和泉砂川駅連区分会）組織改正に関する課題
- 井上委員（和歌山支社分会）指令所の要員に関する要望
- 大綱委員（工務部会）ウインドブレーカー導入の進捗状況
- 安倍委員（営業部会）インバウンド対応に関する課題 運賃改定に関する要望
- 分会の組織運営に関する課題



第28回京都駅ビル大階段駆け上がり大会！

2025年2月22日（土）、2025春闘の前哨戦である「第28回京都駅ビル大階段駆け上がり大会」が開催され、和歌山地本より「和歌山ソルティードブルムズ」が参加した。出場選手は45歳以上枠で紀伊田辺運輸区分会の松岡選手、女性枠で和泉砂川駅連区分会の山路選手、一般で紀伊田辺運輸区分会の高野選手、和泉砂川駅連区分会の原田選手が激走してくれました。当日は日本列島に寒波が襲い、例年よりも気温が低い中で大会となったが、4名それぞれが全力で階段を駆け上がり、成績は68チーム中19位（JR西労組内では3位）と昨年（46位）よりも大幅に順位を上げる大健闘の走りを魅せてくれました。選手の皆様、本当にお疲れ様でした！！